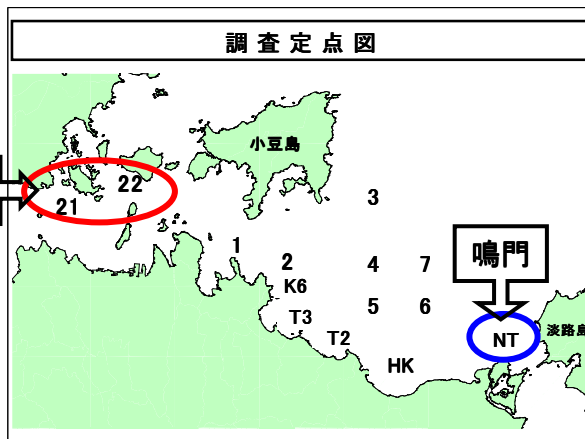


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 6- 1)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



## 浅海定線調査結果

調査日: 6月2日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

### 【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.6.2	0	47	169	184	151	61	85	32	0	0	5	-	-	-	66.7	
2007.6.4	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-	0.3	0.3
2008.6.3	0	0	0	14	9	3	0	39	2	3	0	-	-	-	6.4	6.4
2009.6.2	0	0	2	6	0	4	6	1	0	0	0	0	0	-	1.7	1.5

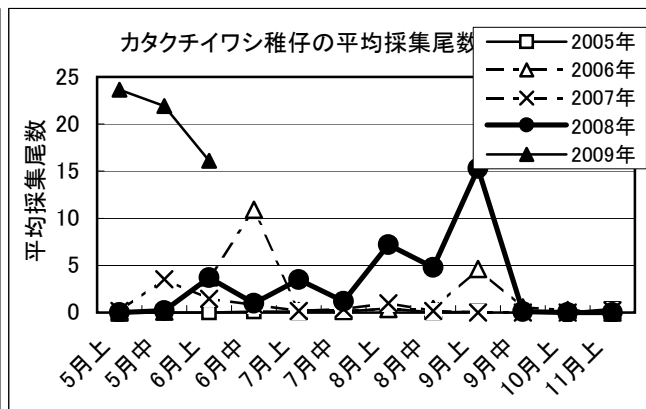
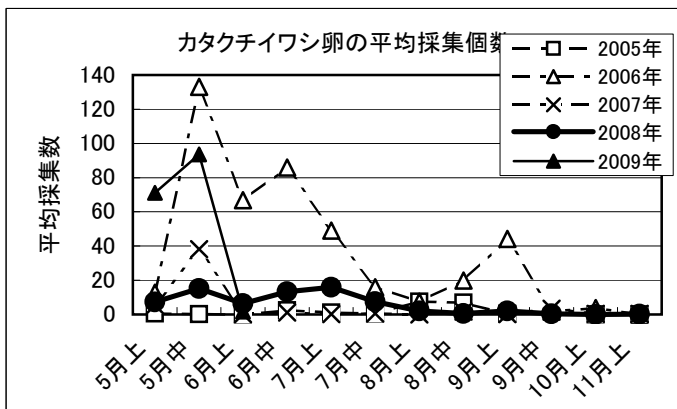
### 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.6.2	0	2	4	2	2	8	17	1	2	0	3	-	-	-	3.7	
2007.6.4	0	1	0	1	4	0	0	9	0	0	1	-	-	-	1.5	1.5
2008.6.3	2	6	0	8	8	0	0	2	13	1	1	-	-	-	3.7	3.7
2009.6.2	0	39	19	9	26	23	29	5	3	1	23	0	0	-	16.1	13.6

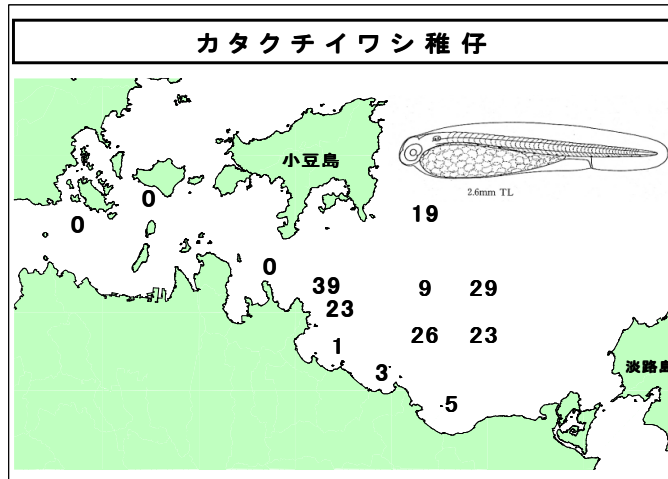
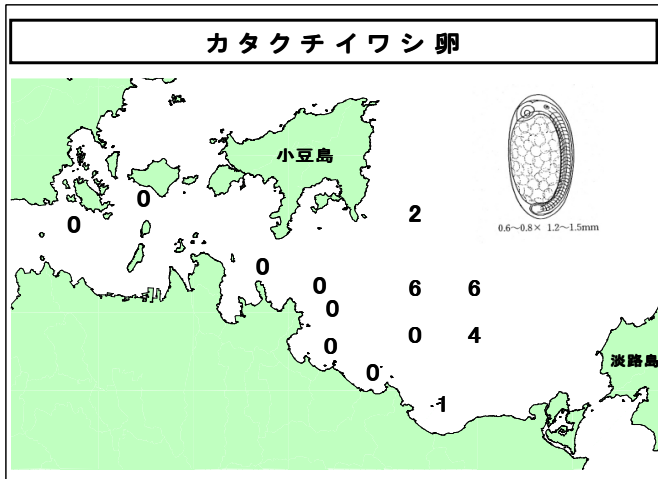
\* 表中の「-」は未測定を表す。

\* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

\* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



\* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 1.7個となり、昨年同時期を下回った。卵は沖合いでの出現数がやや多かった。

一方、稚仔の出現は約 16尾となり、昨年同時期を大きく上回った。稚仔の出現は播磨灘の大半の定点で認められ、播磨灘での稚仔の出現が多い傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、5月中旬以降の水温は平年並みに推移している。